

◆繰越の方法

(画面例はすべて『PCA 商魂・商管 DX』を使用しています)

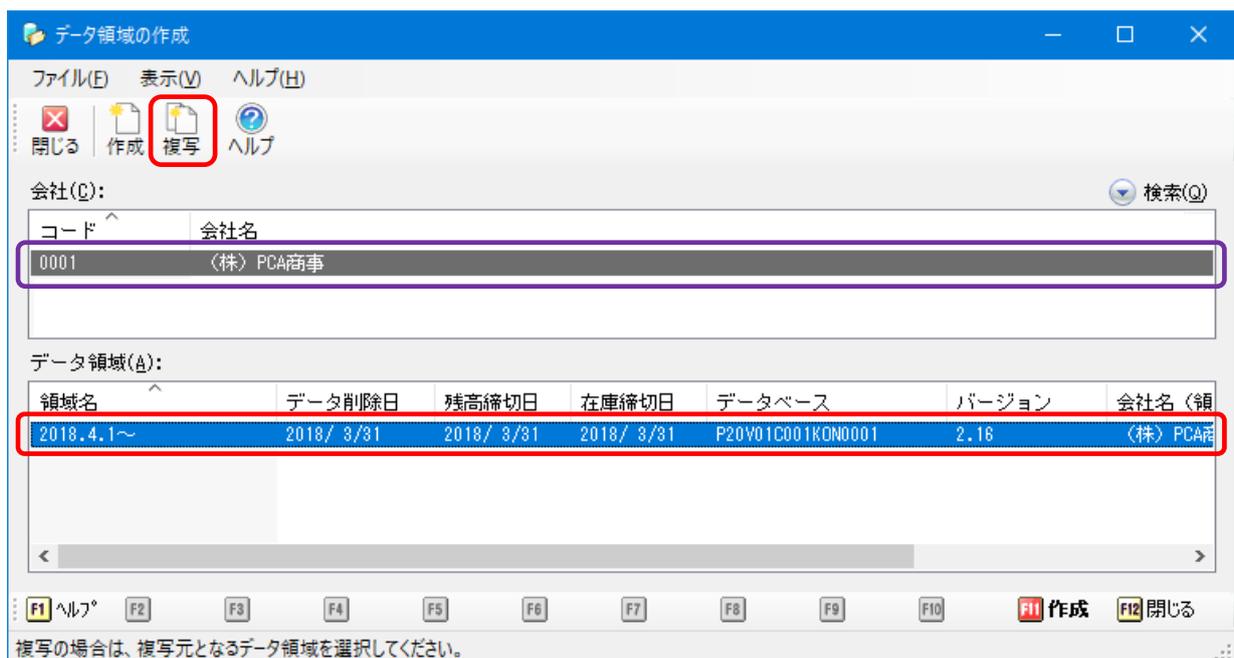
期が変わり新しい領域に移行したい場合、以下の作業で新しい領域へデータを移行することができます。
※但し、商魂・商管・売上じまん・仕入じまんは期ごとに領域を分けなくても、そのまま同じ領域で利用できるソフトとなっておりますので、必ずしも必要な処理ではありません。
管理上、期ごとに領域を変更したい場合にのみ行ってください。

【注 意】

- この処理は前期が終わってすぐに実行してしまうと、「期をまたいだ請求ができなくなる」などの問題が発生します。前期が終わってから3ヶ月程度経ってから処理を実行する事をお勧めします。(例：3/31付で繰越処理を行う場合、実際に処理をするのは6月頃など)
- 前期の売上や入金に訂正があった場合、前期領域と今期領域のデータは別々に手修正が必要になります。データの連動はできません。

【操作手順】

- ① メニューの「ファイル」－「データ領域のバックアップ」を起動し、現在のデータのバックアップを行います。
- ② メニューの「ファイル」－「データ領域の作成」を起動します。
現在の領域を選択した状態で[複写]ボタンをクリックします。



- ③ 「新しい領域に複写する」を選択し、[会社名] と [フリガナ] には使用中のデータ領域と同じ内容を入力します。[会社の扱い] も使用中のデータ領域の会社名を選択し、[複写] ボタンをクリックします。

データ領域の複写 - P20V01C001KON0001: (株) PCA商事

新しい領域に複写する(N)

会社名(B)	(株) PCA商事
フリガナ(D)	(カブ)PCAヨウジ
会社の扱い(E)	(株) PCA商事

既存の領域に複写する(E)

会社(D): 検索(Q)

コード	会社名
-----	-----

データ領域(A):

領域名	データ削除日	残高締切日	在庫締切日	データベース
-----	--------	-------	-------	--------

会社の扱い(D): (株) PCA商事

- ④ 複写が終わるとデータ領域の切り替え確認のメッセージが表示されますので、データ領域を切り替えないことを意味する [キャンセル] ボタンをクリックします。最初の画面に戻りますので [閉じる] ボタンをクリックして処理を終了します。

データ領域の作成

データ領域の複写が完了しました。

データ領域: (株)PCA商事
データベース: P20V01C001KON0002

複写したデータ領域に切り替える場合は[OK]を、切り替えない場合は[キャンセル]を選択して下さい。

※念のため「ファイル」－「データ領域の選択」にて現在選択されている領域と、複写された領域が増えていることをご確認ください。

【参考】

今まで使っていたデータ領域を新年度も使う運用にします。

《ネットワーク版》をご利用のお客様の場合、複写元のデータ領域を新年度で使う運用にすることにより、各クライアント（ユーザー）で「データ領域の選択」で新年度の領域を選択し直す必要がなくなります。

- ⑤ メニューの「前準備」－「会社基本情報の登録」をクリックして起動し、[データ領域名] を新しい期に合わせて変更します。（「2020.4.1～」や「令和2年度」など）次に[基本情報] タブをクリックし、[伝票入力可能期間] を新しい期に合わせて変更します。[登録] ボタンをクリックして変更した内容を登録します。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 ヘルプ

会社情報(N):

コード	0001
会社名	(株)PCA商事
別名	(加)PCA加
データ領域名	2020.4.1~

計算式項目 コンビニ支払情報 郵便局振込情報 ロット管理 同時入力 更新履歴

企業情報 基本情報 桁数設定 消費税 項目名と敬称 伝票設定 連動入力 伝票入力制限1 伝票入力制限2 伝票No自動付番

日付設定(A):

使用する暦	<input checked="" type="radio"/> 西暦 <input type="radio"/> 和暦
伝票入力可能期間	2020年 4月 1日 ~ 2022年 3月 31日
伝票の西暦印字桁数	<input type="radio"/> 2桁 <input checked="" type="radio"/> 4桁
自動付番基準日	

月次実績の締切日(B):

売上	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締 <input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 末締
仕入	<input type="radio"/> 5日締 <input type="radio"/> 10日締 <input type="radio"/> 15日締 <input type="radio"/> 20日締 <input type="radio"/> 25日締 <input checked="" type="radio"/> 末締

原価設定(D):

原価端数	0:得意先の金額端数
原価税込区分	0:売上税込区分

在庫情報(C):

在庫締切日	2018年 3月 31日
倉庫別在庫管理	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
在庫金額の評価方法	<input type="radio"/> 最終仕入原価法 <input type="radio"/> 総平均法 <input type="radio"/> 標準原価法 <input checked="" type="radio"/> 月次移動平均法
在庫金額計算時の円未満端数	<input checked="" type="radio"/> 切捨て <input type="radio"/> 切上げ <input type="radio"/> 四捨五入

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 参照 F9 F10 F11 F12 登録

全角20文字(半角40文字)以内で入力してください。

- ⑥ メニューの「在庫管理」－「在庫締切」を起動し、[在庫締切日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。
- ※「商管」「仕入じまん」をご利用いただいていない場合、この処理は不要ですので⑦にお進みください。

在庫の締切

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 実行 ヘルプ

【参考】前回在庫締切日：2018年 3月 31日

在庫締切日(A) 2020年 3月 31日

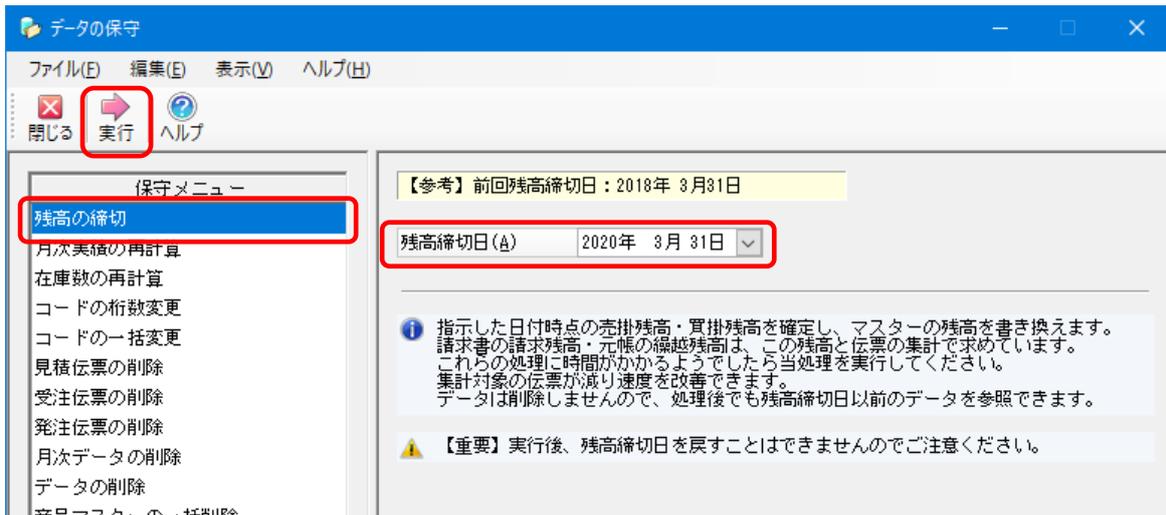
指定した日付時点の評価単価・繰越在庫数を確定し、商品マスターを書き換えます。伝票は削除しませんので、処理後でも在庫締切日以前の伝票を参照できます。

【重要】実行後、在庫締切日に戻すことはできませんのでご注意ください。

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 参照 F9 F10 F11 実行 F12 閉じる

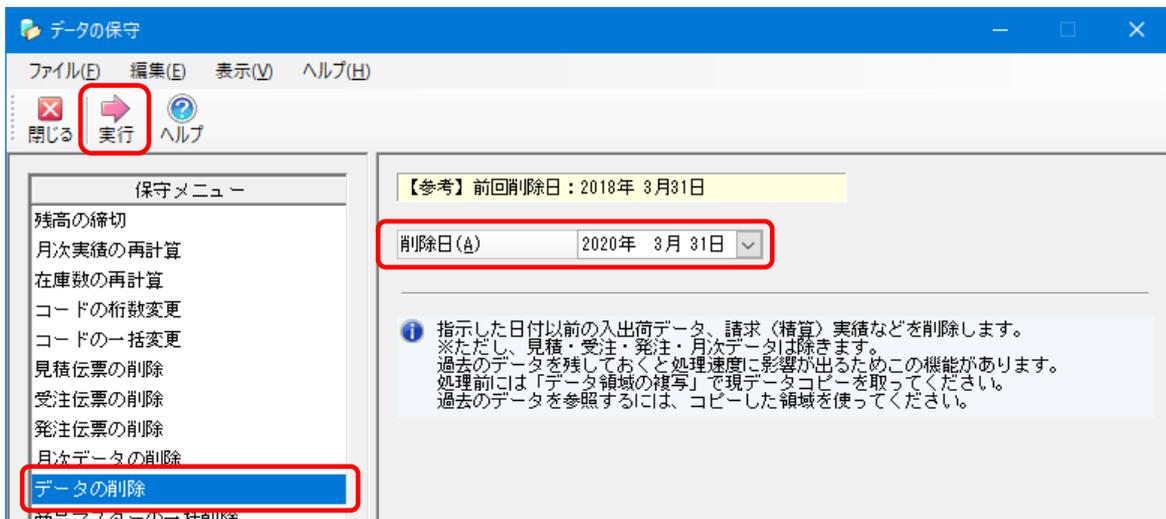
締切日を年月日を分けて入力

- ⑦ メニューの「ファイル」－「データの保守」を起動し、[残高の締切] を選択し、[残高締切日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。



- ⑧ 処理が終了しましたら、表示されるメッセージの [OK] ボタンをクリックします。

- ⑨ 次に [データの削除] を選択し、[削除日] を前期の末日に設定し、[実行] ボタンをクリックします。



- ⑩ 「データの保守」メニューを閉じます。

以上でデータの繰越作業は終了です。